

モンシロチョウの触角や足はどのようなになっているのでしょうか。



図1 モンシロチョウの触角
(約100倍)

触角も体や足と同じように、節のあるつくりをしています。

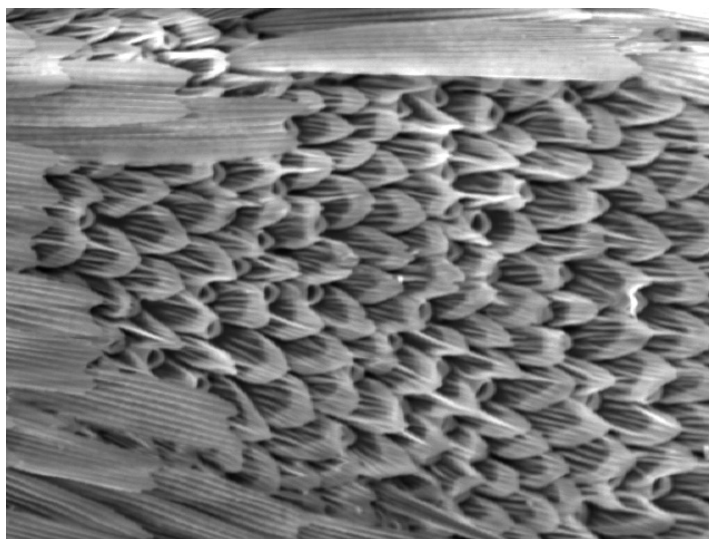


図2 触角の表面(約1,000倍)

触角にも鱗粉が生えています。鱗粉が抜け落ちたあとは、穴があいています。触角は、においなどを敏感に感じ取るためのものです。

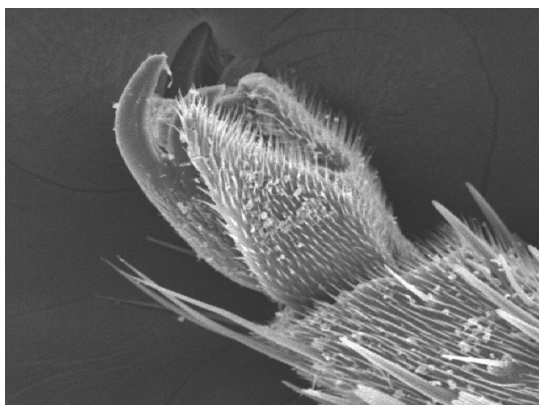


図3 モンシロチョウの足の先(約200倍)

ものにつかまる時には、手を広げて爪をひっかけのしくみになっています。

モンシロチョウの幼虫に寄生するアオムシコマユバチ



図4 アオムシコマユバチ(約35倍)

モンシロチョウの幼虫を飼育していると、幼虫の腹を食い破って出てくる虫がいます。これは、アオムシコマユバチです。この成虫を拡大してみると、



図5 約150倍

体の特徴から、モンシロチョウと同じ昆虫の仲間であることがわかります。

(長野県総合教育センター生物担当 2000.3)